

30203建築設備工事における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	15~16	一般宅排水管修理の際、埋設30cm程の排水管（Φ90）の接続時、持ち上げるときにぎっくり腰になり、その際に背中も痛めた。	41	19	921	1 ～ 9
2	2017	12	11~12	会社の置場で資材の積み込み時に、2tダンプのあおりを外しているとき、誤って自分の左足に落ちた。	35	4	221	10 ～ 29
3	2017	12	10~11	脚立の三段目で雨樋（堅樋）の修理中、修理後、脚立から降りる際に脚立二段目から足を踏み外し、後ろ向きに降りた所右足をひねり骨折した。	23	1	371	1 ～ 9
4	2017	12	10~11	顧客先に於いて、太陽光発電工事照会対応の為、屋根の写真撮影をしている際、撮影機材（6.4mの長さの棒の先にカメラを付けた物）を左手で腰の位置で持ち、右手のモニターで確認しながら後退して撮影を行っていたところ、高圧線（66kV）まで約1m近づいたところで誘導電流により撮影機材が引き寄せられて接触し、撮影機材を伝って体に電流が流れ、左腹部から左足に掛けて重度の熱傷を負い救急搬送されたものである。	39	13	351	10 ～ 29
5	2017	12	13~14	工場内で年末の片付け中、スクラップ廃棄する配管の付属バルブを取り外していた時、ボルトが共回り状態になったので、ナット側にスパナを掛けて定盤につっかえ固定をし、ボルト側にメガネスパナを掛けて緩めようと力を入れたとたんに固定していたナッ	56	7	364	10 ～

				ト側のスパナが外れ、ス力をくらった勢いでメガネスパナを握っていた右手を定盤にぶつけてしまい、右手の指先をスパナと定盤で挟む状況となり負傷してしまった。				29
6	2017	11	16~ 17	外壁改修に伴う仮設足場で外部足場解体を行う前に足場養生をしている壁つなぎ用鋼管パイプ1.5mを取り外し、地上にいる作業員に荷下ろしをしていた。地上より高さ2.7mあり届かないにも関わらず、残高1.2m~1.5mから落下させた。荷受け時に手を滑らせてしまい右足中指を負傷した。	32	4	521	10 ~ 29
7	2017	11	10~ 11	ビル空調改修工事の屋上にて、配管撤去後すぐに機器搬出段取り確認のためエキスパンドメタルを歩行した時、床開口（直径約25cm）に右足が入り脛を挫創した。	63	2	417	1 ~ 9
8	2017	11	11~ 12	3Fにおいて10尺脚立に上り、ダクト撤去作業のため、脚立から身を乗り出して既設配管に手をかけた時、配管支持寸切が外れ、そのはずみでバランスが崩れ誤って脚立から落下し左骨盤、左胸部を負傷した。	43	1	371	1 ~ 9
9	2017	11	9~ 10	新築戸建の現場にて、雨樋取り付け工事中、道路側にしか足場が無く、反対側の足場が無い場所での作業のために、脚立を持って足場から屋根の上に渡り、反対側にあるベランダへ屋根から脚立をかけ、降りようとした際、脚立の下が滑り、直角の状態になってしまい、そこから外側に傾き始め頭部からの落下を防ぐため、自ら飛び降りた際両踵で地面に着地した。	26	1	371	10 ~ 29
10	2017	11	11~ 12	会社にて脚立に乗ってパイプが置いてある棚を整理中、バランスを崩し落ちそうになったために、ジャンプして着地したところ、右足の踵の骨を骨折してしまったものである。	54	3	371	10 ~ 29
11	2017	11	11~ 12	木造2階建住宅、6寸屋根塗装工事（スレート瓦）に伴い、太陽光パネルを取り外し屋根塗装完了後、同パネル取り付け工事時パネル取り付け用アルミフレーム（W60×H40×L1704mm）を既設支持金具に取り付け中、屋根面に足を滑らせ足場をスリ抜け約6m	30	1	415	1 ~

				下の隣敷地コンクリート上に落下し、左側頭部脳挫傷、左肩甲骨骨折、左端骨盤骨折の負傷に至った。				9
12	2017	11	16～ 17	自立の出来ない入居者をベッドから車椅子への移乗を行っている時、かなり体重の重い入居者で、全く身体を支えることが出来ない方の為、被災者一人の力で車椅子へ移乗させなければならない。両腕を相手の脇の下に入れて運ぶのだが、ずり落ちそうになり、無理に腰に力を入れて支えた為、腰痛が起きたのだと思われる。	26	3	521	10 ～ 29
13	2017	11	13～ 14	本館外買い場にて、お客様ご購入商品のエースパネル（高1800×幅900×厚12mm、1枚12kg）を30枚、他従業員と木材台車にて平積みで運搬中に台車キャスターが地面溝につかえた際にバランスが崩れ、前方にて運搬中だった当該従業員の太もも付近にて下敷きになり転倒した。	35	19	371	1 ～ 9
14	2017	11	13～ 14	2番ホールティーグラウンドから約230YDのフェアウェイの真ん中付近の丸い排水枡に右足をとられ転倒した。その後、業務を続行したが、業務終了時点で右足首に痛みが増してきた。	23	3	231	30 ～ 49
15	2017	11	16～ 17	当資材置場において、資材の片付けをしている際、滑って転んで背中をぶつけた。	39	2	417	1 ～ 9
16	2017	10	16～ 17	倉庫内において、片付けをしていた。工具のサンダーを使用していたところ、スイッチを入れて作動しなかったの確認をしたら電源が入っていなかった。慌てて電源に接続したら、サンダーのスイッチを入れたままになっていて、右手薬指を工具で切ってしまった。	56	8	153	10 ～ 29
17	2017	10	8～9	住宅改修の現場で、軒下の釘に引っかけていたブルーシートを外そうと脚立に登ったところ、ズボンのすそのゴムが脚立に引っかった。それを外す際にバランスを崩して、脚立の4段目から落	77	1	371	1 ～ 9

				下し、左足を突っぱる形で着地した結果、左足を負傷した。				
18	2017	10	17～ 18	現場を終え、ダンプカーにコンボを乗せ帰社している道中、ゆるく左に曲がる道を走行していた際、重心が傾き右側に横転したものの。その際、右手掌及びひじをすりむいたもの。第3者や同乗者は無し。	26	17	221	1 ～ 9
19	2017	10	9～ 10	配管の改修工事のため、脚立に登って作業をしていた際、脚立の上でバランスを崩し、1m程の高さから飛び降りたが、着地した所に直径15cm程の石があり、左足を打ち、左足首を受傷した。	40	3	417	1 ～ 9
20	2017	10	17～ 18	リフォーム工事の現場で使う材料を会社加工場で加工している時に、2人で板金折り曲げ機を使い、板金を折り曲げる際、手元が滑り刃の下に入ってしまう、片方の従業員が確認せず、手動で圧力をかけてしまった時に、板金を押さえていた左手薬指の先端を切ってしまう、負傷した。	40	7	391	1 ～ 9
21	2017	10	10～ 11	解体工事の、1階建ての屋根の解体中に、屋根上で解体する道具を運んでいる際に、誤って地面に落下し、左足のひざと右手小指を負傷したもの。	47	1	415	1 ～ 9
22	2017	10	9～ 10	鋼材（125角×6.5m）搬入トラックの荷台に乗り、玉掛された鋼材を荷下ろし誘導中に、鋼材が脇腹に接触し、左肩を荷台から地面に転落した際、強打した。	59	6	521	30 ～ 49
23	2017	10	14～ 15	倉庫出入口のシャッターを取り付ける作業で、出入口にシャッター柱を設置時に柱材料である鉄アングルを寸法サイズに切断する工程で、右手に工具のベビーサンダーを持ち、左手で鉄アングルを押さえ切断中に、サンダーの回転が力の加減により跳ね返り、サンダーが材料を押さえていた左手に当たり左手を切ってしまった。	49	1	411	1 ～ 9
24	2017	10	8～9	一般住宅改修工事現場において、手袋をし、ねじ切り機でパイプにテープを巻く作業をしていたところ、手袋にテープがくっつき一緒に巻かれて脱臼した。	60	7	159	10 ～ 29

25	2017	10	16～ 17	自社倉庫内にて、納品後の商品（約24kg）を所定の位置に運ぶ際に腰部を痛めた。	33	19	611	30 ～ 49
26	2017	9	13～ 14	体育館吊り天井改修主体工事において、小アリーナ足場の組立作業の手元として作業中に資材を取りに行く際、既存梁に頭部をぶつけてバランスを崩し、15.7mの高さの足場から転落した。落下途中に足場転倒防止単管にも衝突し、全身を強く打ち出血を伴う意識不明の状態だった、救急車でセンターに搬送されたが死亡した。	21	1	411	10 ～ 29
27	2017	9	9～ 10	TA工事に伴う配管工事（配管のカッティング・仮止め・溶接作業）を朝から作業場にて、被災者を含む3名で行っていた、被災者がバンドソー（電気ノコ盤）の鋸刃取り替えを終了直後、棒芯は作業員に休憩するよう声を掛けた。被災者も休憩に向かおうとした際、作業場の定盤上（高さ60cm）から地上に転落した、転落時、右手甲を打撲、後日、脳内出血と診断された。	51	1	416	1 ～ 9
28	2017	9	14～ 15	498.2KW太陽光発電設備のメンテナンス業務として、樹木の枝打ち作業でハシゴ上部にて枝打ち作業中に、移動しようとして枝を持って移動しようとした所、枝が折れてバランスを崩して転落した。	48	1	712	1 ～ 9
29	2017	9	16～ 17	製作所工場K1の8機建屋8棟L3～4階部分の塗装工事を終えて、その作業近辺の足場を含めた清掃及び片付け作業中、誤って約9.5Mの高さの足場から転落し、足場下を清掃していた他の下請先従業員が接触して地面に叩きつけられ負傷したものである。	63	1	411	1 ～ 9
30	2017	9	10～ 11	上記日時頃、内装工事作業中の被災、木工事材料を切っている際電動丸ノコの刃に指があたり、右手の中指と薬指を負傷した。	77	8	131	1 ～ 9
				当社請負改修工事現場の小学校において、現場作業車が校庭を通				

31	2017	9	15～ 16	過するために敷設した敷鉄板の隙間に埋めていた木の板が湿気等で反ってしまい、敷鉄板の片側に重りがかかると反対側が浮いてしまう状態にあったところ、改修工事に従事するため徒歩で現場に向かう際、その浮いた木に足を引っかけて転んだ際に手をつき骨折に至った。	44	2	379	1 ～ 9
32	2017	9	7～8	仕事現場に向かう途中、自動車道下り出口を出た合流付近で乗車中の車が雨でスリップ。合流線のポールを倒し、反動で左側のガードレールに車体右後方が接触。その勢いで助手席側に横転し、そのまま100m程滑走したのち止まる。その際、助手席の後ろに乗車。シートベルト未着用だったため、左右に体が大きくゆさぶられ、横転の際に左側を強打。脇腹、首などを痛める。	66	17	231	10 ～ 29
33	2017	9	9～ 10	事業所内倉庫に於いて、現場から出た廃材の片付け作業中。カッターナイフを使用していたところ手元を誤り左手人差し指を負傷したものである。	60	8	364	1 ～ 9
34	2017	9	8～9	テレビアンテナ工事の屋根の上での作業中、足を滑らせて転落したものである。	55	1	415	1 ～ 9
35	2017	8	7～8	1人でケーブル定寸カットをする準備を行っていた際、ケーブルドラム（29.8kg、径600mm）をジャッキにのせるため、片側に鉄の棒をのせ、もう片側を持ち上げ、ジャッキにのせようとしたところ、腰部に痛みを感じ、そのまま地面に座り込み、寝ころんでしまった。すぐ治ると思い2時間ほど横になり、起き上がろうとした際に激痛を感じたため、救急車を要請し搬送された。	53	19	611	1 ～ 9
36	2017	8	14～ 15	自社ヤード内で、トラックから資材を荷下ろし中、資材に指を挟んだ。	51	7	611	10 ～ 29
				天守3階にて、最終城内確認・戸締まり作業をしているとき、南側石打棚上の確認を終えて階段を降りる際に、一般来城者の侵入				50

37	2017	8	17～ 18	防止のため設置されている竹柵の横から降りようとしたところ、後ろ向きに降りたために階段の段数を間違え、右足が伸びきった状態で床に落ちてしまった。	28	1	413	～ 99
38	2017	8	10～ 11	会社敷地内で、基礎ブロック（300×300×600）を二人で運搬中に躓いてしまい、体勢を崩したとき、ブロックを左足の上に落とした。	51	4	417	1 ～ 9
39	2017	8	12～ 13	工場内で、クレーン上部の感知器の取替作業をしているときに、クレーンが動き出し、被災者の右足が巻き込まれ、右足骨折の災害が発生した。なお、同日昼休みに取替依頼があり、クレーン上で修理が必要なため、クレーン管理者にクレーン操作停止を依頼し、修理を開始した。修理完了後、撤収作業時に突然、クレーンが動き出し、右足が引っ張られ骨折した。	60	7	211	1 ～ 9
40	2017	8	16～ 17	改修工事現場において、1階底上のコンクリート外壁に配管用の穴あけ作業をしていた際、底上（高さ3m）に上がっての作業中、移動（後退）時に、コア抜き作業時に使用する水を入れたバケツに躓き、バケツと共に底から地面に転倒し、第5・7頸椎と頭部を受傷した。足場を組み、安全帯を装着していたが、移動のためにたまたま安全帯を外していた時に災害が発生した。今後、高所作業の際は、移動中であっても必ず安全帯を使用するよう指導した。	29	1	418	1 ～ 9
41	2017	8	18～ 19	帰社後、会社資材置き場にて積み降ろし作業をしていた際、ダンプ車後方の扉が外れ、左足に直撃し、骨折した。	24	6	221	1 ～ 9
42	2017	8	10～ 11	作業場において、当会社の社屋に使用する破風板をベンダーで加工中、測った位置より奥に鉄板が入ってしまったので手前に出そうとしたところ、左人差指も一緒に入ってしまい、その事を相手に伝えなかったためスイッチを押してしまい、人差指を鉄板と一	65	7	154	10 ～ 29

				緒に挟んで負傷した。				
43	2017	8	13~14	作業所加工場屋外で塗装作業中に床に倒れかかっているところを発見し病院へ連れて行った。	63	90	921	1 ~ 9
44	2017	7	14~15	2階建新築工事現場で、足場の上で壁の中の板針作業をしていた。しゃがんで作業していたところ、手すりの間から地面に落ちた。	69	1	411	1 ~ 9
45	2017	7	11~12	エアコン洗浄工事において、1人が脚立で作業し、自分は周辺の作業状況監視や補助作業をしていた。作業状況を見上げながら前方に移動した際、足元にあった道具に気付かずぶつかり、バランスを崩して外壁に顔面をぶつけ負傷したが、終日仕事をした。首のこわばりと左手のしびれがある。	38	2	417	1 ~ 9
46	2017	7	16~17	倉庫内で、書類ダンボールを整理中、脚立を梯子にした3段目から、バランスを崩し飛び降り右足かかとを骨折した。	46	1	371	30 ~ 49
47	2017	7	18~19	営業先で業務を終えて会社に帰社する途中、信号が赤に変わったため停止していたところ、後方から加害者運転の車が私の車にぶつかってきた。このため私は頭部を強く打ち負傷した。	36	17	231	50 ~ 99
48	2017	7	13~14	飛天馬上にて、電動サンダーで鉄管を切っている時に、鉄管にはじき返された電動サンダーが顔面を直撃した。手が当たったが顔面を切りつけてしまったと思い、咄嗟に電動サンダーから手を離してしまい左大腿部に落下し、高速で回転するディスク部分により裂挫創となったもの。	55	4	153	30 ~ 49
49	2017	7	16~17	会社の資材置場にて、資材のコンクリート蓋を車に搬入する際に手を滑らせ、右足の上に蓋が落ちてしまった。	23	4	523	1 ~ 9
				浄化槽搬入時、つり込み作業をしている際、荷台から降りた時、				10



50	2017	7	10~11	バランスを崩し着地となった。その時、膝をひねり、激痛がはしり、翌日検査をしたところ、手術が必要と診断になり、入院となる。	48	19	221	~ 29
51	2017	7	15~16	会社の倉庫内で整理作業中、段差につまずき転倒し、右膝を打ち損傷。	30	2	416	10 ~ 29
52	2017	6	14~15	倉庫改修工事現場において、厚さ12mmの下地板を6枚重ね、電動丸鋸（直径195mm）で切断していたところ、通常垂直に丸鋸の刃を入れるところ、斜め上から入れたため節目に当たったのか、板に刃が引っ掛かり制御できず、回転していた刃が右大腿部に接触し、負傷したものである。	57	8	131	10 ~ 29
53	2017	6	15~16	組合内の空調機撤去工事現場において、配管材の切断作業中、電動工具（グラインダー）にて配管材の切断をしていたところ、グラインダーの刃に配管材が挟まり、回転が一時停止した。その後、それを取り除こうとした際、電源を切っていなかったため再度刃が動き出し、右手に当たり、人差し指を負傷した。	29	8	153	1 ~ 9
54	2017	6	13~14	現場にてサイロ架台の鉄骨建て方中、高さ2.7mの梁の上を歩いて移動する時、バランスを崩し転落した。	34	1	416	—
55	2017	6	9~10	工場内において水道管の修理作業中、ネジ切り機でネジを切断中に、誤って機械が停止する前に、右手人差し指が回転していたネジに触れて切創した。	22	7	159	1 ~ 9
56	2017	6	9~10	当該建設工事作業所の1階地上にて、ステンレス管（20A）を切断して、内部・外部のバリ取り作業を電気ドリルを使用し、軍手を着用して行った。左手にステンレス管、右手に電気ドリルを持っての不安定な状態であったため、電気ドリル先端の研磨刃部分がステンレス管外部から滑り、左手親指に接触し、軍手を巻き込み、当該部を受傷した。	49	7	159	30 ~ 49
				当社加工場内において、廃材（各現場で交換した部材等）を持ち				

57	2017	6	13～ 14	帰り、入れて置いたバケツ（約8kg）の取っ手を右手で持ち、加工場敷地内廃材置場に捨てた（右腕のみでバケツをひっくり返した）際、廃材の重みで右腕を捻ったものである。	50	19	921	1 ～ 9
58	2017	6	14～ 15	1F通路から2F事務所に通じる階段において、同場所の昇りきった床で、脇の壁に書類掛けの為ヒートン（吊り下げ）金具を取り付ける際にバランスを崩し、高さ約2m程の場所から1Fコンクリート床にそのまま落下し、左足踵を骨折した。	48	1	413	1 ～ 9
59	2017	6	20～ 21	社有車で移動中、高速道路で交通事故が発生した。事故現場はサービスエリア（SA）付近で、SAで休憩後、接触した模様である。自車は転覆し、相方車は横転した。本人は事故のショックでSA出発後の記憶が無く、事故の原因及び詳細は不明である。現在、警察署にて事故原因を捜査中である。	46	17	231	30 ～ 49
60	2017	6	11～ 12	工場現場で木製建具を撤去している時に、右手の掌にトゲが刺さった。自然にトゲが抜けると思い放置していたが、悪化し、膿んで痛みを感じるようになった。	37	8	379	1 ～ 9
61	2017	5	10～ 11	民家の雨漏修理依頼のため屋根に登り、点検と雨漏箇所を捜索中、狭い箇所を見るため屋根瓦にうつ伏せになった時に胸を打ち、胸に痛みが出た。	58	3	415	1 ～ 9
62	2017	5	16～ 17	1F倉庫にて最上段の棚の道具の整理作業中、1,200mmの脚立上から2段目（地上高900mm）に跨ったときに体勢が悪く、後ろ向きに倉庫床に転落した。	22	1	371	1 ～ 9
63	2017	5	14～ 15	バルブ取り付け作業終了後、足場から脚立（5尺）で降りようと片足を脚立の天板にのせた際に、バランスを崩して体勢が前のめりになり体の右側から転落した。床から足場までの高さは約1m60cm、脚立（5尺）の高さは約1m40cmであった。	23	1	371	1 ～ 9
64	2017	5	12～ 13	被災者は、産業廃棄物保管施設において残土の運搬作業中に、トラック（最大積載量2 t）の右後輪と地面との間に挟まれて倒れ	73	7	221	1 ～

				ているところを発見された。				9
65	2017	5	15～ 16	グレーチングの上で電気ドリルを使用しコンクリートを除去する作業中、グレーチングの上が濡れていたため滑って右足首を捻挫した。すぐに帰宅し安静にしていたが、翌日になっても腫れが治まらなかった。	55	19	921	1 ～ 9
66	2017	5	15～ 16	高所作業台と開閉テントをロープでつないでいたため、開閉テントのスイッチを入れたら一緒に作業台が引っ張られ、ロープが切れて作業台が倒れた。	48	2	146	1 ～ 9
67	2017	4	11～ 12	工事現場に於いて、ハシゴ（脚立）を使って屋根（約2m）の高さまで登り、屋根で作業している別の作業員に道具を渡す際、体のバランスを失い足を滑らせ落下し、2m下の階段の踊り場のコンクリート面に右足を強打した。	62	1	371	1 ～ 9
68	2017	4	10～ 11	キッチン組立後、上部のマク板を加工中に丸のこで左手人差し指第2関節あたりを切傷した。歯がくい込んで、外す時に切ったものである。	54	8	131	1 ～ 9
69	2017	4	9～ 10	資材置場改修工事にて足場用単管資材を移設整理中、4m単管を3tトラックに積み込みロープを掛け荷台から降りる際に足を滑らせ落下した。その際に頭部を打ち、外傷性くも膜下出血であると分かった。	54	1	221	1 ～ 9
70	2017	4	13～ 14	塀と建物間の狭いところで脚立を使用して重量物の設置作業中、誤って脚立を踏み外してしまい、両膝を強打した。	42	1	371	1 ～ 9
71	2017	4	13～ 14	プラスチック粉砕機ホッパー設置工事において、被災者と同僚でフォークリフトを使用し、ホッパー（プラスチック投入口）の取り付け作業中、ホッパーが滑落したので慌てて飛び降りた先にホッパーが落下し、両足を負傷した。	27	5	162	1 ～ 9
				お客様宅の給排水工事にて、浴槽配管工事の準備で露出配管の材				1

72	2017	3	13~14	料を確認するために、エアコン室外機用の鉄板に上がった時に足を踏み外して、1階の倉庫の屋根に落下し、さらに地面アスファルト駐車場に転落し、右肩打撲・鎖骨骨折・腰打撲を負った。	59	1	418	~ 9
73	2017	3	13~14	ガス機器（給湯器）設置工事で、戸建住宅の外壁でガス配管作業をするため、地上約4.0mの高さにある既設ガス管まで梯子を掛け登る途中に、当日雨天のため足を滑らせ約1.5m下に足から落下し、右足から着地した際に強い衝撃が踵に加わり、右足踵骨を骨折した。	51	1	371	~ 29
74	2017	3	16~17	自社倉庫の屋内から屋外へ鉄製配管（約直径25cm×長さ60cm重さ20kg）を一人で抱きかかえ移動中、屋内から屋外へ出る10cm程の段差の鉄板が雨でぬれていて滑り、右足を負傷した。	30	2	419	~ 9
75	2017	3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	32	17	221	30 ~ 49
76	2017	3	17~18	会社事務所において、現場からの旋盤（30kg）を車から降ろして倉庫に入れるため一人で持った際、無理な体勢で持ったため、右肩を負傷した。	54	19	151	1 ~ 9
77	2017	3	10~11	一般事務壁の改修工事において、空調機用電源線の天井内作業を6尺脚立を使用していた。天井点検口よりケーブルキャッチャーを天井内にセットし他の点検口からケーブルを引き込む際、脚立より降りるときにバランスを崩して踏み外したため床に転落した。	36	1	371	1 ~ 9
78	2017	3	11~12	新築工事現場において、現場から歩行して現場事務所に戻る際、事務所入口のブロック踏み台を踏み外し転倒し、足首をひねって損傷した。	62	2	417	1 ~ 9
79	2017	2	10~11	現場（飲食店）にて、照明器具のネジ締めを行っている時、手が滑ってドライバーを手に刺した。	44	8	364	—

80	2017	2	11~12	当社倉庫内において、片付け中に釘が刺さった木片があり、右足に釘が刺さり負傷した。	28	16	521	—
81	2017	2	15~16	個人宅屋根工事で足場を歩いている、上を向いた時、足場の棒が右目の黒目に当たってしまった。	21	3	411	1 ~ 9
82	2017	2	10~11	作業場内卓上丸鋸設置場所において、切断作業（アルミアングル寸法切作業）の際、備え付けバイスに切断物（アルミアングル）固定切断のところ、固定時の締付螺子が緩かった為、固定物が回転した。その際、左手を添えていたのでバイスと固定物の間に指が挟まれ負傷した。	36	7	169	1 ~ 9
83	2017	2	11~12	被災者（職長）は同僚他2名で伐採作業を行っていた。梯子上でチェーンソーを使い枝払いをしようとした。切ろうとした枝を道路側に落ちない様、他2名がロープで引っ張っていた為切断途中で幹が揺れて梯子上（高さ2.5m）から飛び降り被災した。	35	3	416	1 ~ 9
84	2017	2	16~17	配管工事の作業中に配管用パイプをバンドソーで切断し、そのバンドソーを作業場所から取り出そうとした際、途中でバンドソーがつかえてしまいそのはずみで誤ってスイッチが入ってしまい、バンドソーの刃の部分が左手中指に当たり怪我をした。	27	8	159	—
85	2017	2	10~11	型枠加工場で、台付丸鋸で塗装合板を切断しようとして、左手中指と小指を裂傷し薬指は骨折をした。雨で滑りやすくなっている塗装合板と濡れたゴム手袋をはめて、さらに丸鋸の安全カバーを外し、さらに補助道具を利用しないで作業したため左手が滑ってしまった。	64	8	131	10 ~ 29
86	2017	2	16~17	業務命令があり、個人宅の換気扇取り付け工事のための枠木の加工作業をしていた。場所は会社の敷地内工場である。夕方、右手にのこぎり（刃渡り30cm）を持ち、左手で材料の角材を押さえて、真横から切断していたところ、のこぎりはずれ、左手親指	38	8	364	1 ~ 9

				の付け根を直撃し、負傷し、3針縫う。角材の寸法は、縦4.5cm、横4.5cm、長さ90cmである。				
87	2017	2	9~10	扉補修工事を行っている場所で、扉開口部廻りの鍍金を交換する為、移動式足場へ梯子を設置して登った時に、梯子の中間（1.5m位）あたりで、踏み棧を踏み外してバランスを崩し、梯子と一緒に倒れ、左踵をコンクリート床に強打した。	72	1	371	—
88	2017	2	10~11	防犯カメラ4台の設置工事の際、カメラの設置前の下準備の為、工具（ドリル）で作業にかかろうとしていた。1.5m程の脚立に1人でまたがるような形で乗り左手は壁に置き、身体を支えた状態で右上の壁側に穴をあけ作業の為、工具（ドリル）を持った手を伸ばした時、フワッと右へ傾き、脚立も自分自身も地面に落ちた。落ちた際手をつき、反動で顔面を打ち歯も折れ動けず遠くにいた社員に助けられた。	37	1	371	—
89	2017	2	13~14	共同溝排気口（一般）に7㎡2連アルミ梯子をセットし、降りようとした際に手を滑らせて床から2.5m付近から落下した。壁に立て掛けてあった蓋に腰を強打した。	63	1	371	1 ~ 9
90	2017	2	11~12	工事現場で倉庫から外にある仮置場に重さ8kg位の木の角材を運んでいる時に積雪路上であった為足を滑らして転んだ。右手で体を支えたが、不安定な転び方をした為左肩を強打してしまった。	65	2	719	—
91	2017	1	18~19	食肉加工室内で、床から高さ約3m前後にあるモーターのVベルト調整を依頼され、客先から借用した脚立の脚3本をロープで固定物に緊結し、応援の社員が到着する前にとりあえず様子を見ようとして、脚立に上ろうとしていた。その後、本人の記憶はないが床に座り込んでいたのを客先職員が発見した。ヘルメットは着用していたが、安全帯は使用していなかった。	69	1	371	10 ~ 29
			16~	工場内3FC6南付近上部でケーブルラック上にあるケーブル撤去作業中、梯子を使って昇降中、補助者をつけずに梯子を結足しに				

92	2017	1	17	行こうとして、高さ3mくらいの位置で梯子が滑り一緒に落下して、両ひざ、右ひじ、額に裂傷を負った。	57	1	371	—
93	2017	1	10～11	当社で受注した送水管工事において、当日の朝から新設の鋳鉄管を布設（1本目）し、在来土にて埋戻を行っていた。被災者は、埋戻用の土砂（在来土）を土砂置場より4tダンプで運搬しバックホーの後方に停車しバックホーのオペレーターがバックホーにて4tダンプの荷台から土砂をすくい鋳鉄管の布設されている開口部へ埋戻を行っていた。バックホーのオペレーターが、被災者の4tダンプより土砂を4～5回すくい埋戻を行い、再度4tダンプの荷台から土砂をすくう為、開口部から右旋回したところ、被災者が田の畔に立っているのに気づかず、バックホーのバケット底部と被災者の頭頂部が接触し被災した。	62	6	142	1～9
94	2017	1	9～10	塗装ブースの後側で、ブーフファンダクトの接続工事中、6尺脚立を足元確認後しっかり開き、上から2段か3段にまたがり、ダクトを押し上げながらボルトを入れようとして、バランスを崩して落下した。	69	1	371	—
95	2017	1	20～21	当社構内において、改装工事現場より帰社後、作業日報作成後に帰宅する際、構内に駐車してある被災者の車に乗る際、地面が凍っており足を滑らせ右足首を捻りながら転倒し、負傷した。	26	2	419	—
96	2017	1	10～11	倉庫の中で取替後の水道メーターの箱（10個入20箱）を管理移設中に、トタンボールのあるのに気付かず、箱を持ったまま踏み付けて、躓いてしまった。そのまま転倒し、前にあった工具箱に左腕をぶつけ骨折した。	70	2	416	—
97	2017	1	11～12	工場にて、防火水槽の拡張工事のため現場の調査をしている際に、歩行中道路の轍の盛り上がりで躓いた際に負傷した。	45	2	417	1～9
			15～	配管工加工スペースでベビーサンダーを使用し、ボイド100φの				1

98	2016	12	16	切断加工中に、サンダーの刃がボイドに絡まって跳ねた際に、左手指を負傷した。	23	8	159	～ 9
99	2016	12	10～ 11	工事現場の鉄骨建て方作業中、クレーン車が吊っていた鋼材を移動中、被災者の胸部に当たり、その反動にて高さ2.5mから落下し、負傷した。	41	1	211	1 ～ 9
100	2016	12	16～ 17	駐車場において、明日の段取りにて2tトラックに長尺プラスチック板1枚を積み終わり、車から降りようとしたところ、横ドアに足が引っかかりバランスが崩れて転倒し、左脛骨を骨折した。	45	1	221	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。